



第62回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会



2024年6月8日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.LTD(WIAWIS) 株式会社 JPF
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会

Communiqué.03-1

2024年6月6日

セーフティ・マネージャー 近嵐智加良

注意箇所

- ・事前の現地調査や過去の大会で事故が起きた事例を基に注意喚起をいたします。
- ・この他にも注意すべき箇所あります。選手はレース前の試走を十分行いコースの状況・特性を把握のうえ、安全な大会運営をお願いします。

1. コースは、片側 3.5m、全幅 7 m 道路でセンターラインはあるが、中央分離帯はありません。
前走者を追い抜くときのセンターライン越えは禁止。対面でのレース形態のため注意が必要。
2. 個人ロードタイムトライアルの特性上、特に T T ハンドルの使用によるハンドル操作、前方不注意などによる蛇行、コース脱落には十分注意し集中して走行する。
自転車走行の大原則である下を向くことなくしっかり前方を見て走行。
3. コースは平坦に見えますが、大型トラックの工事用道路のため、**いたるところに凹凸があります。**穴、亀裂、補修箇所などには十分注意。
4. 横断箇所には立哨員を配置していますが、細い脇道から人や自転車が、間違えて入ってくることが過去にもあり、前方注意は必須。
5. 路面標示 140 k m 前後に立派なゲート（グレー & 黄）が数か所設置され、閉めたゲートを固定する穴がセンターライン付近にあり。また、マンホールは各所にあり注意。
6. 復路の路面標示 142 k m 地点にマンホール前後に目印用の穴が 2 個あり。ゴムマットにて養生する予定。（写真参照）
7. 折返しは 180 度の U ターン。コースは片道 3.5m のため、減速、コース取り、ハンドル操作（特に T T ハンドル）、立ち上がり、テクニック、慣れが必要。
8. コースは遮るものがないため自然現象の影響を受けやすい。風向き、風力、暑さ、寒さ、雨天時の路面の滑りなど注意が必要。雨の場合かなり大きな水溜りが各所に出来る。過去には**高温多湿による多数が熱中症**の事例もあり。

公式のレース結果はホームページで公開しています。 <http://jjcf.info/>





第62回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会



2024年6月8日(土) 埼玉県加須市・羽生市 利根川上流河川敷南側
主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
協賛：(公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社
株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO.LTD(WIAWIS) 株式会社 JPF
後援：国土交通省利根川上流河川事務所 加須市 羽生市 羽生市教育委員会

Communiqué.03-2

9. 危険個所の一例



公式のレース結果はホームページで公開しています。 <http://jjcf.info/>

